

季節の風景 10月

体育の日

1964年（昭和39年）に開催された東京オリンピックの開会式が10月10日に行われ、金メダル16個（世界第三位）と輝かしい成果を残し、多くの人に感動を与えたことから「国民がスポーツを親しみ、健康な心身を培う日」として、1966年（昭和41年）の10月10日に「体育の日」という名前の祝日が誕生しました。その後、2000年（平成12年）からはハッピーマンデー制度の適用により、10月第2月曜日に変更となりました。



そもそも、夏季オリンピックであれば開会式はもっと早くても良い気がしますが、当時、日本オリンピック委員会から気象庁に「日本の戦後の復興を世界に見せるため、絶対に晴れる日を選びたい」との依頼があり、秋晴れの10月が選ばれたのです。気象庁が晴れる確率が高い日を調査したところ、一番晴れる確率が高い日が10月15日、次が10月10日という調査結果から、その年は土曜日であった10月10日が、人々の注目を集めやすいことから東京オリンピックの開会式に決まったのです。

そして、いよいよ来年は、2020東京オリンピックの開催です。日頃、運動不足の方も、ぜひ、体育の日には健康な身体作りに努めてみませんか。

第25回 四万十川ウルトラマラソン

全参加者合計約2400人が四万十川沿いを走り抜けます。当日は交通規制などを行います。皆さまの沿道でのご声援を宜しくお願い致します。

■日時 / 10月20日 ①
60km スタート 午前10時
スタート会場 こいのぼり公園

※午前9時40分～10時20分までの間は全面通行止となります。通行止め区間は、十川神社～JA 給油所

〔お問い合わせ先〕 十和町民生活課 ☎28-5518

第63回高南地域畜産フェスティバル&コスモス祭り

毎年人気の豚レース、牛とのふれあい体験、バターやアイスクリーム作り体験など、畜産ならではのイベントが盛りだくさんです。屋台・餅投げなどがあり、ご家族連れも楽しめます。みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

■日時 / 10月27日 ①
午前10時～午後3時（小雨決行）
■場所 / 本堂 東又新グラウンド
（高知県立農業担い手育成センター内）

〔お問い合わせ先〕
高南地域畜産フェスティバル&コスモス祭り実行委員会 ☎(JA内)22-0537



第15回米こめフェスタ

お米のお祭り、さまざまな催しものや出店もあります。

■日時 / 11月3日 ①
午前10時～午後3時
■場所 / 四万十緑林公園



〔お問い合わせ先〕 にぎわい創出課 ☎22-3281

第44回台地まつり

2日間、窪川市街地がお祭り会場に。

■日時 / 11月9日 ②・10日 ①
■場所 / 窪川市街地



〔お問い合わせ先〕
四万十町観光協会 ☎29-6004

高岡神社秋季例大祭

七五三や「おなばれ」「やぶさめ」など。

■日時 / 11月15日 ① 午前10時～午後4時
■場所 / 高岡神社（仕出原）

〔お問い合わせ先〕 高岡神社 ☎22-3652

下津井仁井田神社大祭（冬もうし）

男衆に担がれた牛鬼が下津井集落の家々を周り、住民の幸せや豊作を祈願します。

■日時 / 11月25日 ①
午前9時ごろ～正午ごろ 牛鬼練り歩き
午後2時ごろ～ 花取り踊り
午後3時ごろ～ もち投げ
■場所 / 下津井仁井田神社

〔お問い合わせ先〕 大正地域振興局 ☎27-0111

第13回西部地区産業祭

大正・十和地区で交互に毎年行わる「山の暮らし」を見つめなおすイベント。当日は農林産物の品評会や地元団体による出店もあります。

■日時 / 12月1日 ① 午前9時～午後3時
■場所 / 昭和小学校グラウンド・体育館

〔お問い合わせ先〕 十和地域振興課 ☎28-5111

積み上げよう！経験と石

ロックバランスングイベントを開催します。ロックバランスングとは、どこにでもある石を絶妙なバランスで積み上げるバランスアートです。ぜひこの機会に一緒に石でアートを作ってみませんか？



▲ロックバランスング

■日時 / 12月14日 ②
【石の日】午前10時～正午（予定）
■場所 / 四万十町大井野橋下の河原（予定）
■参加費 / 無料

〔お問い合わせ先〕
企画課四万十川対策室 ☎22-3124

今月の

女性参画が当たり前に なりますように



この3名の女性は、（株）四万十交通のバスの運転士さんです。村越さんは、黒潮町でスクールバスの運転士さんとしてすでに11年のキャリアがあります。太田さんと東山さんは、今年の8月からハンドルを握ることになりました。

まずは太田さん。高知市内の税理士事務所から、故郷四万十町の同社に転職。長らく事務の仕事に専従してきました。ところが突然「運転もやってくれないか？」という要請を受け、まさかの大変な三つの教習へ行くことになったのだそう。乗用車との感覚の違いに最初は四苦八苦でした。最初は「上手い！こんなにセンスがある」と驚いているとのこと。

東山さんは、中土佐町の給食センターで調理師から、同社に転職。入社時に「営業、事務、添乗、運転、全てやってほしい」と、初めからマルチミッションを請け負いました。しばらくは、運転以外の仕事をこなしていましたが、いよいよ運転もすることになり、太田さんよりひと月早く教習所へ。東山さんも「前輪が運転席より後ろにあるという難しさを感じましたね。それでも持ち前のセンスであったという間に免許取得。現在、四万十町内の路線とスクールバスで活躍しています。

村越さんは、黒潮町内のスクールバス（無料の路線バスも兼ねているそうです）の運転を任されています。「若い頃から、バスやトラックなどの大型自動車を運転したかったんです」というだけあって、3人の中ではベテランの風格！なんと、自動車だけでは満足せず、一級小型船舶の免許も持っているのだとか。



▲左から
太田さん、東山さん、村越さん
おた 太田めぐみさん（南川口）
ひがしやまけいこ 東山恵子さん（中土佐町久礼）
むらこしまさこ 村越雅子さん（黒潮町佐賀）